

令和元年度における都内私立学校の児童生徒の問題行動・不登校等の実態

1 調査の概要

本調査は、文部科学省が全国の小学校、中学校、高等学校(全日制・定時制・通信制)及び特別支援学校を対象に、令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)における「暴力行為」、「いじめ」、「長期欠席」及び「高等学校における中途退学者等」等の実態把握のため実施したものである。

このうち、東京都内の私立学校分を取りまとめたものは、以下のとおりである。

<調査対象>

私立小学校	54校	(児童数 25,149人)	
私立中学校	188校	(生徒数 75,003人)	休校含む。
私立高等学校	241校	(生徒数 182,912人)	休校含む。
私立特別支援学校	4校	(児童生徒数 159人)	

※ 学校数及び児童生徒数は、令和元年度学校基本調査(令和元年5月1日現在)による。

ただし、「(4)私立高等学校における中途退学者数等の状況」については、平成31年4月1日現在の高等学校(全日制・定時制・通信制)の生徒(生徒数 182,932人)が対象である。

2 主な調査結果 ※カッコ内は前年度数値

(1) 私立小学校、中学校及び高等学校における暴力行為の状況 【資料の1(3頁)参照】

平成30年度に比べ、暴力行為の発生件数は小学校において増加し、中学校、高等学校において減少している。

学校の管理下での暴力行為は、小学校14校で90件(20件)、中学校51校で195件(219件)及び高等学校52校で136件(183件)発生している。

学校の管理下以外での暴力行為は、小学校1校で1件(0件)、中学校5校で5件(3件)及び高等学校4校で6件(7件)発生している。

※ 本調査における「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力(目に見える物理的な力)を加える行為」をいい、被暴力行為の対象によって、「対教師暴力」(教師に限らず、用務員等の学校職員も含む。)、「生徒間暴力」(何らかの人間関係がある児童生徒同士に限る。)、「対人暴力」(対教師暴力、生徒間暴力の対象者を除く。)、学校の施設・設備等の「器物損壊」の四形態に分けている。

【問い合わせ先】

生活文化局私学部私学行政課 電話 03-5388-3194

(2) 私立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校におけるいじめの状況 【資料の2(4、5、6頁)参照】

平成30年度に比べ、いじめの認知件数は小学校、特別支援学校において増加し、中学校、高等学校において減少している。

いじめは小学校20校で135件(120件)、中学校72校で316件(365件)、高等学校70校で178件(248件)、特別支援学校1校で1件(0件)認知している。

いじめの発見のきっかけとしては、「本人からの訴え」が1番多く179件、2番目に「アンケート調査など学校の取組により発見」137件、3番目に「当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え」131件となっている。

いじめの態様については、「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が397件と最も多く、次に「仲間はずれ、集団による無視をされる」114件、「パソコンや携帯電話等でひぼう・中傷や嫌なことをされる」113件となっている。

※ 本調査における「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

(3) 私立小学校、中学校及び高等学校における長期欠席の状況 【資料の3、4(11、13頁)参照】

平成30年度に比べ、長期欠席者数は小学校において増加し、中学校、高等学校において減少している。

令和元年度の長期欠席者数は、小学校で164人(149人)、中学校で2,029人(2,048人)となっている。高等学校は、2,075人(2,240人)で、全日制2,008人(2,173人)、定時制67人(67人)となっている。

※ 本調査における「長期欠席者数」とは、令和元年度間(平成31年4月1日から令和2年3月31日までの1年間)に「病気」、「経済的理由」、「不登校」等により連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒をいう。

(4) 私立高等学校における中途退学者数等の状況 【資料の5(15、16頁)参照】

平成30年度に比べ、退学となった生徒数は定時制、通信制において増加し、全日制において減少している。

退学者数は2,709人で、全日制は2,071人(2,173人)、定時制は51人(31人)、通信制は587人(430人)である。

(5) 私立小学校、中学校及び高等学校における自殺の状況 【資料の6(16頁)参照】

令和元年度の自殺者数は8人で、小学校は0人、中学校は1人、高等学校は7人である。

1 私立小学校、中学校及び高等学校における暴力行為の状況

(1) 暴力行為の発生状況

項目 校種	学校総数(校) A	区分	発生学校数(校) B	発生率(%) B/A×100	発生件数(件) C	1校あたりの件数(件) C/A
小学校	54 (53)	学校の管理下	14 (12)	25.9% (22.6%)	90 (20)	1.67 (0.38)
		学校の管理下以外	1 (0)	1.9% (0.0%)	1 (0)	0.02 (0.00)
中学校	188 (187)	学校の管理下	51 (51)	27.1% (27.3%)	195 (219)	1.04 (1.17)
		学校の管理下以外	5 (3)	2.7% (1.6%)	5 (3)	0.03 (0.02)
高等学校	241 (241)	学校の管理下	52 (68)	21.6% (28.2%)	136 (183)	0.56 (0.76)
		学校の管理下以外	4 (5)	1.7% (2.1%)	6 (7)	0.02 (0.03)

※表中の()内は前年度数値

(2) 対教師暴力の状況

項目 校種	学校総数 (校)	区分	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)	被害教師数 (人)
小学校	54	学校の管理下	1 (1.9%)	10 (0.19)	1 (0.10)	3 (0.30)
		学校の管理下以外	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
中学校	188	学校の管理下	3 (1.6%)	3 (0.02)	3 (1.00)	3 (1.00)
		学校の管理下以外	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
高等学校	241	学校の管理下	4 (1.7%)	5 (0.02)	5 (1.00)	4 (0.80)
		学校の管理下以外	1 (0.4%)	1 (0.00)	1 (1.00)	1 (1.00)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数/発生件数、「被害教師数」欄が被害教師数/発生件数

(3) 生徒間暴力の状況

項目 校種	学校総数 (校)	区分	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)	被害児童生徒数 (人)
小学校	54	学校の管理下	13 (24.1%)	76 (1.41)	23 (0.30)	32 (0.42)
		学校の管理下以外	1 (1.9%)	1 (0.02)	1 (1.00)	1 (1.00)
中学校	188	学校の管理下	42 (22.3%)	142 (0.76)	142 (1.00)	141 (0.99)
		学校の管理下以外	2 (1.1%)	2 (0.01)	3 (1.50)	3 (1.50)
高等学校	241	学校の管理下	40 (16.6%)	82 (0.34)	83 (1.01)	84 (1.02)
		学校の管理下以外	3 (1.2%)	3 (0.01)	3 (1.00)	5 (1.67)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数/発生件数、「被害児童生徒数」欄が被害児童生徒数/発生件数

※加害・被害の別が判明しない場合は、「加害児童生徒数」欄に含めている。

(4) 対人暴力の状況

項目 校種	学校総数 (校)	区分	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)	被害者数 (人)
小学校	54	学校の管理下	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
		学校の管理下以外	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
中学校	188	学校の管理下	2 (1.1%)	2 (0.01)	3 (1.50)	2 (1.00)
		学校の管理下以外	3 (1.6%)	3 (0.02)	3 (1.00)	5 (1.67)
高等学校	241	学校の管理下	2 (0.8%)	4 (0.02)	4 (1.00)	4 (1.00)
		学校の管理下以外	1 (0.4%)	2 (0.01)	2 (1.00)	2 (1.00)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数/発生件数、「被害者数」欄が被害者数/発生件数

(5) 器物損壊の状況

項目 校種	学校総数 (校)	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)
小学校	54	3 (5.6%)	4 (0.07)	2 (0.50)
中学校	188	20 (10.6%)	48 (0.26)	41 (0.85)
高等学校	241	24 (10.0%)	45 (0.19)	44 (0.98)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数/発生件数

(6) 暴力行為の学年別加害児童生徒数 (単位:人)

項目 校種	1年生	2年生	3年生
小学校	2 (7.4%)	7 (25.9%)	1 (3.7%)
中学校	79 (40.5%)	86 (44.1%)	30 (15.4%)
高等学校	57 (40.1%)	67 (47.2%)	18 (12.7%)

項目 校種	4年生	5年生	6年生
小学校	6 (22.2%)	4 (14.8%)	7 (25.9%)

※表中の()は、該当する加害児童生徒数/加害児童生徒校種別総数×100

2 私立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校におけるいじめの状況

(1) 「いじめ」の認知状況等

項目	校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校総数(校)	A	54 (53)	188 (187)	263 (263)	4 (4)	509 (507)
認知学校数(校)	B	20 (24)	72 (82)	70 (74)	1 (0)	163 (180)
認知件数(件)	C	135 (120)	316 (365)	178 (248)	1 (0)	630 (733)
警察に相談・通報した学校数(校)		0 (1)	3 (5)	3 (2)	0 (0)	6 (8)
警察に相談・通報した件数(件)		0 (1)	5 (5)	4 (3)	0 (0)	9 (9)
認知学校率	B/A×100	37.0% (45.3%)	38.3% (43.9%)	26.6% (28.1%)	25.0% (0.0%)	32.0% (35.5%)
1校当たりの件数(件)	C/A	2.5 (2.3)	1.7 (2.0)	0.7 (0.9)	0.3 (0.0)	1.2 (1.4)

※表中の()内は前年度数値

※高等学校においては、全日制校、定時制校、通信制校は1校、全定併置校や通信制併設校等は全日制、定時制、通信制それぞれ1校としている。

(2) いじめの現在の状況

(単位:件)

項目	校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
解消しているもの		100 (74.1%)	276 (87.3%)	158 (88.8%)	1 (100.0%)	535 (84.9%)
解消に向けて取組中		29 (21.5%)	31 (9.8%)	17 (9.6%)	0 (0.0%)	77 (12.2%)
その他(他校への転学、退学等)		6 (4.4%)	9 (2.8%)	3 (1.7%)	0 (0.0%)	18 (2.9%)

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(3) いじめの認知件数の学年別、男女別内訳

(単位:人)

学年		校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
計	男子		55 (40.7%)	163 (51.6%)	117 (65.7%)	1 (100.0%)	336 (53.3%)
	女子		80 (59.3%)	153 (48.4%)	61 (34.3%)	0 (0.0%)	294 (46.7%)
	計		135 (100.0%)	316 (100.0%)	178 (100.0%)	1 (100.0%)	630 (100.0%)
1年生	男子		3 (2.2%)	73 (23.1%)	50 (28.1%)	0 (0.0%)	
	女子		4 (3.0%)	76 (24.1%)	35 (19.7%)	0 (0.0%)	
	計		7 (5.2%)	149 (47.2%)	85 (47.8%)	0 (0.0%)	
2年生	男子		15 (11.1%)	57 (18.0%)	57 (32.0%)	1 (100.0%)	
	女子		10 (7.4%)	51 (16.1%)	20 (11.2%)	0 (0.0%)	
	計		25 (18.5%)	108 (34.2%)	77 (43.3%)	1 (100.0%)	
3年生	男子		6 (4.4%)	33 (10.4%)	10 (5.6%)	0 (0.0%)	
	女子		17 (12.6%)	26 (8.2%)	6 (3.4%)	0 (0.0%)	
	計		23 (17.0%)	59 (18.7%)	16 (9.0%)	0 (0.0%)	
4年生	男子		3 (2.2%)				
	女子		13 (9.6%)				
	計		16 (11.9%)				
5年生	男子		16 (11.9%)				
	女子		18 (13.3%)				
	計		34 (25.2%)				
6年生	男子		12 (8.9%)				
	女子		18 (13.3%)				
	計		30 (22.2%)				

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(4) いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

区分		校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校の教職員等が発見			50 (37.0%)	108 (34.2%)	69 (38.8%)	0 (0.0%)	227 (36.0%)
内 訳	学級担任が発見		24	25	9	0	58
	学級担任以外の教職員が発見 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)		0	14	8	0	22
	養護教諭が発見		0	3	1	0	4
	スクールカウンセラー等の相談員が発見		0	6	0	0	6
	アンケート調査など学校の取組により発見		26	60	51	0	137
学校の教職員以外からの情報により発見			85 (63.0%)	208 (65.8%)	109 (61.2%)	1 (100.0%)	403 (64.0%)
内 訳	本人からの訴え		28	79	72	0	179
	当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え		34	73	24	0	131
	児童生徒(本人を除く)からの情報		12	30	12	1	55
	保護者(本人の保護者を除く)からの情報		10	23	1	0	34
	地域の住民からの情報		1	0	0	0	1
	学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報		0	0	0	0	0
	その他(匿名による投書など)		0	3	0	0	3
計			135	316	178	1	630

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(5) いじめられた児童生徒の相談の状況

(単位:件)

区分	校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任に相談		90 (66.7%)	241 (76.3%)	131 (73.6%)	1 (100.0%)	463 (73.5%)
学級担任以外の教職員に相談 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)		16 (11.9%)	63 (19.9%)	45 (25.3%)	1 (100.0%)	125 (19.8%)
養護教諭に相談		6 (4.4%)	25 (7.9%)	11 (6.2%)	0 (0.0%)	42 (6.7%)
スクールカウンセラー等の相談員に相談		10 (7.4%)	42 (13.3%)	23 (12.9%)	0 (0.0%)	75 (11.9%)
学校以外の相談機関に相談(電話相談やメール等も含む)		1 (0.7%)	5 (1.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (1.0%)
保護者や家族等に相談		68 (50.4%)	115 (36.4%)	62 (34.8%)	0 (0.0%)	245 (38.9%)
友人に相談		6 (4.4%)	34 (10.8%)	22 (12.4%)	0 (0.0%)	62 (9.8%)
その他(地域の人など)		0 (0.0%)	2 (0.6%)	2 (1.1%)	0 (0.0%)	4 (0.6%)
誰にも相談していない		16 (11.9%)	6 (1.9%)	16 (9.0%)	0 (0.0%)	38 (6.0%)
計		213 (157.8%)	533 (168.7%)	312 (175.3%)	2 (200.0%)	1,060 (168.3%)

※回答は複数選択

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(6) いじめの態様

(単位:件)

区分	校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる		100 (74.1%)	199 (63.0%)	98 (55.1%)	0 (0.0%)	397 (63.0%)
仲間はずれ、集団による無視をされる		36 (26.7%)	59 (18.7%)	19 (10.7%)	0 (0.0%)	114 (18.1%)
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする		33 (24.4%)	34 (10.8%)	28 (15.7%)	1 (100.0%)	96 (15.2%)
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする		8 (5.9%)	14 (4.4%)	13 (7.3%)	0 (0.0%)	35 (5.6%)
金品をたかられる		0 (0.0%)	15 (4.7%)	4 (2.2%)	0 (0.0%)	19 (3.0%)
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする		7 (5.2%)	17 (5.4%)	21 (11.8%)	1 (100.0%)	46 (7.3%)
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする		2 (1.5%)	26 (8.2%)	19 (10.7%)	0 (0.0%)	47 (7.5%)
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる		8 (5.9%)	62 (19.6%)	43 (24.2%)	0 (0.0%)	113 (17.9%)
その他		5 (3.7%)	10 (3.2%)	13 (7.3%)	0 (0.0%)	28 (4.4%)
計		199 (147.4%)	436 (138.0%)	258 (144.9%)	2 (200.0%)	895 (142.1%)

※回答は複数選択

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(7) いじめる児童生徒への特別な対応

(単位:件)

区分		校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリング			7 (5.2%)	40 (12.7%)	23 (12.9%)	1 (100.0%)	71 (11.3%)
校長、教頭が指導			20 (14.8%)	38 (12.0%)	34 (19.1%)	1 (100.0%)	93 (14.8%)
別室指導			17 (12.6%)	84 (26.6%)	71 (39.9%)	1 (100.0%)	173 (27.5%)
学級替え			3 (2.2%)	5 (1.6%)	3 (1.7%)	0 (0.0%)	11 (1.7%)
退学・転学	懲戒処分としての退学		0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.1%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)
	その他		0 (0.0%)	2 (0.6%)	14 (7.9%)	0 (0.0%)	16 (2.5%)
停学			—	—	40 (22.5%)	0 (0.0%)	40 (6.3%)
自宅学習・自宅謹慎			—	—	30 (16.9%)	0 (0.0%)	30 (4.8%)
訓告			0 (0.0%)	43 (13.6%)	21 (11.8%)	0 (0.0%)	64 (10.2%)
保護者への報告			61 (45.2%)	202 (63.9%)	144 (80.9%)	1 (100.0%)	408 (64.8%)
いじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導			59 (43.7%)	152 (48.1%)	101 (56.7%)	1 (100.0%)	313 (49.7%)
関係機関等との連携	警察等の刑事司法機関等との連携		0 (0.0%)	14 (4.4%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	15 (2.4%)
	児童相談所等の福祉機関等との連携		0 (0.0%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)
	病院等の医療機関等との連携		0 (0.0%)	2 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)
	その他の専門的な関係機関との連携		2 (1.5%)	1 (0.3%)	3 (1.7%)	0 (0.0%)	6 (1.0%)
	地域の人材や団体等との連携		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
計			169 (125.2%)	584 (184.8%)	487 (273.6%)	5 (500.0%)	1,245 (197.6%)

※回答は複数選択

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(8) いじめる児童生徒に対する関係機関の措置別人数

(単位:人)

区分		校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
警察の補導(家庭裁判所送致等されず、警察限りで処理されたもの)			0	0	0	0	0
家庭裁判所(不処分、審判不開始を含む)			0	0	0	0	0
少年刑務所			—	—	0	0	0
少年院			0	0	0	0	0
保護観察			0	0	0	0	0
児童自立支援施設			0	0	0	0	0
児童相談所			0	0	0	0	0
計			0	0	0	0	0

(9) いじめられた児童生徒への特別な対応

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリング	18 (13.3%)	52 (16.5%)	45 (25.3%)	0 (0.0%)	115 (18.3%)
別室の提供や常時教職員が付くなどして、心身の安全を確保	24 (17.8%)	41 (13.0%)	40 (22.5%)	1 (100.0%)	106 (16.8%)
緊急避難として欠席	0 (0.0%)	2 (0.6%)	11 (6.2%)	0 (0.0%)	13 (2.1%)
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施	3 (2.2%)	14 (4.4%)	8 (4.5%)	0 (0.0%)	25 (4.0%)
学級替え	3 (2.2%)	7 (2.2%)	6 (3.4%)	0 (0.0%)	16 (2.5%)
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応	1 (0.7%)	2 (0.6%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	4 (0.6%)
児童相談所等の関係機関と連携して対応(サポートチームなども含む)	2 (1.5%)	4 (1.3%)	3 (1.7%)	0 (0.0%)	9 (1.4%)
計	51 (37.8%)	122 (38.6%)	114 (64.0%)	1 (100.0%)	288 (45.7%)

※回答は複数選択

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(10) 学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

(単位:校)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
職員会議等を通じて、いじめの問題について教職員間で共通理解を図った	49 (90.7%)	158 (84.0%)	200 (76.0%)	4 (100.0%)	411 (80.7%)
いじめの問題に関する校内研修会を実施した	22 (40.7%)	51 (27.1%)	64 (24.3%)	1 (25.0%)	138 (27.1%)
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	44 (81.5%)	148 (78.7%)	141 (53.6%)	3 (75.0%)	336 (66.0%)
児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童・生徒同士の人間関係や仲間作りを促進したりした	30 (55.6%)	92 (48.9%)	88 (33.5%)	2 (50.0%)	212 (41.7%)
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った	44 (81.5%)	157 (83.5%)	204 (77.6%)	1 (25.0%)	406 (79.8%)
教育相談の実施について、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った	15 (27.8%)	78 (41.5%)	101 (38.4%)	0 (0.0%)	194 (38.1%)
学校いじめ防止基本方針をホームページに公表するなど、保護者や地域住民に周知し、理解を得るよう努めた	11 (20.4%)	51 (27.1%)	72 (27.4%)	0 (0.0%)	134 (26.3%)
PTAなど地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	3 (5.6%)	12 (6.4%)	15 (5.7%)	0 (0.0%)	30 (5.9%)
いじめの問題に対し、警察署や児童相談所など地域の関係機関と連携協力した対応を図った	2 (3.7%)	48 (25.5%)	53 (20.2%)	0 (0.0%)	103 (20.2%)
インターネットを通じて行われるいじめの防止及び効果的な対処のための啓発活動を実施した	19 (35.2%)	134 (71.3%)	151 (57.4%)	1 (25.0%)	305 (59.9%)
学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して機能しているか点検し、必要に応じて見直しを行った	31 (57.4%)	97 (51.6%)	120 (45.6%)	1 (25.0%)	249 (48.9%)
学校いじめ防止基本方針に定めているとおり、いじめ防止等の対策のための組織を招集した	24 (44.4%)	69 (36.7%)	92 (35.0%)	1 (25.0%)	186 (36.5%)
計	294 (544.4%)	1,095 (582.4%)	1,301 (494.7%)	14 (350.0%)	2,704 (531.2%)

※回答は複数選択

※表中の()内は、該当する校数/校種別学校総数×100

(11) いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った具体的な方法について

(単位:校)

区分		校種		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校		
アンケート調査の実施		17 (31.5%)	17 (31.5%)	61 (32.4%)	75 (39.9%)	54 (20.5%)	115 (43.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	132 (25.9%)	207 (40.7%)		
実施 頻度	年1回	4 (7.4%)	1 (1.9%)	14 (7.4%)	35 (18.6%)	22 (8.4%)	40 (15.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	40 (7.9%)	76 (14.9%)		
	年2～3回	11 (20.4%)	15 (27.8%)	45 (23.9%)	37 (19.7%)	29 (11.0%)	72 (27.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	85 (16.7%)	124 (24.4%)		
	年4回以上	2 (3.7%)	1 (1.9%)	2 (1.1%)	3 (1.6%)	3 (1.1%)	3 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (1.4%)	7 (1.4%)		
調査 方法	記名式	12 (22.2%)	8 (14.8%)	37 (19.7%)	38 (20.2%)	31 (11.8%)	61 (23.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	80 (15.7%)	107 (21.0%)		
	無記名式	3 (5.6%)	4 (7.4%)	18 (9.6%)	28 (14.9%)	17 (6.5%)	44 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	38 (7.5%)	76 (14.9%)		
	記名・無記名の 選択式	3 (5.6%)	6 (11.1%)	13 (6.9%)	16 (8.5%)	9 (3.4%)	18 (6.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	25 (4.9%)	40 (7.9%)		
回答 方法	学校で記入	17 (31.5%)	16 (29.6%)	46 (24.5%)	64 (34.0%)	42 (16.0%)	85 (32.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	105 (20.6%)	165 (32.4%)		
	持ち帰って記入	1 (1.9%)	1 (1.9%)	21 (11.2%)	14 (7.4%)	16 (6.1%)	36 (13.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	38 (7.5%)	51 (10.0%)		
個別面談の実施		17 (31.5%)	26 (48.1%)	64 (34.0%)	90 (47.9%)	57 (21.7%)	144 (54.8%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	139 (27.3%)	262 (51.5%)		
「個人ノート」や「生活ノート」といった ような教職員と児童生徒との間で日常 的に行われている日記等		9 (16.7%)	20 (37.0%)	25 (13.3%)	46 (24.5%)	16 (6.1%)	40 (15.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	50 (9.8%)	106 (20.8%)		
家庭訪問		2 (3.7%)	1 (1.9%)	6 (3.2%)	9 (4.8%)	4 (1.5%)	9 (3.4%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	12 (2.4%)	21 (4.1%)		
その他		3 (5.6%)	3 (5.6%)	7 (3.7%)	10 (5.3%)	8 (3.0%)	26 (9.9%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	19 (3.7%)	39 (7.7%)		
計		48 (88.9%)	67 (124.1%)	163 (86.7%)	230 (122.3%)	139 (52.9%)	334 (127.0%)	2 (50.0%)	4 (100.0%)	352 (69.2%)	635 (124.8%)		

※回答は複数選択

※表中の()内は、該当する校数/校種別学校総数×100

(12) いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生件数

(単位:人)

区分		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計		
法第28条第1項に規定する「重大事態」が発生した学校数(単位:校)		3	8	4	0	15		
法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		3	9	5	0	17		
法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)	重大な被害の態様	生命	0	0	0	0	0	
		身体	0	0	0	0	0	
		精神	2	7	1	0	10	
		金品等	0	0	2	0	2	
	調査状況	調査済みの件数		2	6	3	0	11
		うち、調査の結果、いじめが確認されたもの		2	6	3	0	11
		うち、調査の結果、いじめが確認されなかったもの		0	0	0	0	0
		調査中の件数		0	1	0	0	1
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		2	6	3	0	11	
	調査状況	調査済みの件数		1	4	3	0	8
うち、調査の結果、いじめが確認されたもの		1	4	2	0	7		
うち、調査の結果、いじめが確認されなかったもの		0	0	1	0	1		
調査中の件数		1	2	0	0	3		
法第28条第1項に規定する「重大事態」の調査主体	「重大事態」の発生件数のうち、当該学校が調査主体となった件数(単位:件)		3	8	5	0	16	
	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		2	6	3	0	11	
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		2	5	3	0	10	
	「重大事態」の発生件数のうち、当該学校の設置者(当該学校以外)が調査主体となった件数(単位:件)		0	1	0	0	1	
	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	1	0	0	1	
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	1	0	0	1	
	「重大事態」の発生件数のうち、調査主体を検討中の件数(単位:件)		0	0	0	0	0	
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	0	0	0	0	
法第28条第1項に規定する「重大事態」のうち、法第30条第2項及び法第31条第2項に規定する調査の結果について調査(再調査)を行った件数	地方公共団体の長等において調査の結果について調査(再調査)を行った件数(単位:件)		0	0	0	0	0	
	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	0	0	0	0	
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	0	0	0	0	

※法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」、同項第2号に規定する「重大事態」は「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。」である。

※ 「重大な被害の態様」については、最も重大と考えられるものを回答。

※いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号及び同第2号の両方に該当する場合は、それぞれの項目に回答。

3 私立小学校及び中学校における長期欠席の状況

(1) 長期欠席の状況

(単位:人)

項目	小学校	中学校	計
病気	52 (31.7%)	518 (25.5%)	570 (26.0%)
経済的理由	0 (0.0%)	2 (0.1%)	2 (0.1%)
不登校	94 (57.3%)	1,439 (70.9%)	1,533 (69.9%)
その他	18 (11.0%)	70 (3.4%)	88 (4.0%)
計	164 (100.0%)	2,029 (100.0%)	2,193 (100.0%)

※表中の()内は、該当する児童生徒数/長期欠席者数×100

(2) 学年別長期欠席理由

(単位:人)

校種	理由 学年	病気	経済的理由	不登校			その他	合計	
				うち、90日 以上欠席 している	うち、出席 日数が10 日以下				
					うち、出席 日数が0日	うち、出席 日数が10日 以上			
小学校	1年	3	0	5	2	0	0	1	9
	2年	4	0	9	6	0	0	0	13
	3年	6	0	10	6	2	1	2	18
	4年	9	0	14	8	1	1	2	25
	5年	13	0	18	12	2	1	5	36
	6年	17	0	38	19	1	1	8	63
	計	52	0	94	53	6	4	18	164
中学校	1年	127	0	384	192	11	1	18	529
	2年	199	1	494	270	56	17	18	712
	3年	192	1	561	343	63	20	34	788
	計	518	2	1,439	805	130	38	70	2,029
合計		570	2	1,533	858	136	42	88	2,193

(3) 不登校の要因

区分 学校種	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	
	いじめ	をいじめを めぐる問題	る問題を 除く友人関係	教職員との 関係をめぐ	学業の不振	進路に係る 不安	への不適 応	クラブ活動、 部活動等	学校のきまり 等をめぐ	時の不適 応	入学、転 編入学、進 級	家庭の生活 環境の急激	親子の関 わり方		家庭内の 不和
小学校	主たるもの	1	14	5	3	0	0	0	7	4	16	1	4	33	6
	主たるもの以外	0	4	3	6	4	0	1	3	1	9	4	2	9	4
計		1	18	8	9	4	0	1	10	5	25	5	6	42	10
中学校	主たるもの	10	220	5	126	18	18	9	111	29	97	38	78	450	230
	主たるもの以外	4	40	7	68	27	5	10	66	8	66	17	47	81	44
計		14	260	12	194	45	23	19	177	37	163	55	125	531	274

※「区分」の回答は主たるものを一つ選択し、主たるもの以外で当てはまるものがある場合は、一人につき2つまで選択

(4) 不登校児童生徒への指導結果状況

(単位:人)

項目	校種		校種	
	小学校		中学校	
指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	20 (21.3%)	(20) (27.8%)	269 (18.7%)	(275) (20.6%)
指導中の児童生徒	74 (78.7%)	(52) (72.2%)	1,170 (81.3%)	(1,057) (79.4%)
計	94 (100.0%)	(72) (100.0%)	1,439 (100.0%)	(1,332) (100.0%)

※表中の右欄(()内)は前年度数値

※表中の()内は、該当する児童生徒数/不登校児童生徒数×100

(5) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	校種	小学校		中学校	
			*		*
学校外	① 教育支援センター(適応指導教室)	9 (9.6%)	8	32 (2.2%)	24
	② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	1 (1.1%)	1	20 (1.4%)	15
	③ 児童相談所、福祉事務所	7 (7.4%)	5	24 (1.7%)	13
	④ 保健所、精神保健福祉センター	0 (0.0%)	0	3 (0.2%)	3
	⑤ 病院、診療所	21 (22.3%)	13	339 (23.6%)	210
	⑥ 民間団体、民間施設	5 (5.3%)	3	49 (3.4%)	40
	⑦ 上記以外の機関等	6 (6.4%)	4	20 (1.4%)	13
	上記①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	48 (51.1%)	20	972 (67.5%)	503
学校内	⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	43 (45.7%)	19	351 (24.4%)	183
	⑨ スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	65 (69.1%)	39	782 (54.3%)	446
	上記⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数	21 (22.3%)	13	531 (36.9%)	300
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数		12 (12.8%)	8	363 (25.2%)	193

※回答は複数選択

※表中の()内は、該当する児童生徒数/不登校児童生徒数×100

※「*」の欄は、内数として「不登校のうち、90日以上欠席している者」

4 私立高等学校における長期欠席の状況

(1) 長期欠席の状況

(単位:人)

項目	課程		
	全日制	定時制	計
病気	749 (37.3%)	7 (10.4%)	756 (36.4%)
経済的理由	1 (0.0%)	2 (3.0%)	3 (0.1%)
不登校	1,108 (55.2%)	58 (86.6%)	1,166 (56.2%)
その他	150 (7.5%)	0 (0.0%)	150 (7.2%)
計	2,008 (100.0%)	67 (100.0%)	2,075 (100.0%)

※表中の()内は、該当する生徒数/長期欠席者数×100

(2) 学年別長期欠席理由

(単位:人)

課程	理由 学年	病気	経済的 理由	不登校						その他	合計
				中退	原級留置	うち、90日 以上欠席 している	うち、出席 日数が10 日以下				
							うち、出席 日数が0日				
全 日 制	1年	246	0	470	175	38	101	10	1	53	769
	2年	265	0	360	115	6	58	4	0	62	687
	3年	238	1	278	52	3	37	4	1	35	552
	計	749	1	1,108	342	47	196	18	2	150	2,008
定 時 制	1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2年	0	0	2	1	0	0	0	0	0	2
	3年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単位制	7	2	56	15	6	24	6	1	0	65
	計	7	2	58	16	6	24	6	1	0	67
合計		756	3	1,166	358	53	220	24	3	150	2,075

(3) 不登校の要因

区分 学校種	学校に係る状況									家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし
	いじめ	をいじめを除く友人関係	教職員との関係をめぐ	学業の不振	進路に係る不安	への不適応	クラブ活動、部活動等	学校のきまり等をめぐ	時の不適応	入学、転編入学、進級	家庭の生活環境の急激	親子の関わり方	家庭内の不和	そび、非行	
全 日 制	主たるもの	2	132	22	115	120	33	14	93	23	56	22	67	287	122
	主たるもの以外	1	31	4	73	22	6	2	19	4	32	12	22	84	37
計		3	163	26	188	142	39	16	112	27	88	34	89	371	159
定 時 制	主たるもの	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	15	20	18
	主たるもの以外	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0
計		0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	0	15	31	18

※「区分」の回答は主たるものを一つ選択し、主たるもの以外で当てはまるものがある場合は、一人につき2つまで選択

(4) 不登校生徒への指導結果状況

(単位:人)

項目	課程		校種	
	全日制	定時制	全日制	定時制
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	410 (37.0%)	(450) (40.0%)	6 (10.3%)	(17) (34.0%)
指導中の生徒	698 (63.0%)	(676) (60.0%)	52 (89.7%)	(33) (66.0%)
計	1,108 (100.0%)	(1,126) (100.0%)	58 (100.0%)	(50) (100.0%)

※表中の右欄()内は前年度数値

※表中の()内は、該当する生徒数/不登校生徒数×100

(5) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	校種	全日制		定時制	
			*		*
学校外	① 教育支援センター(適応指導教室)	5 (0.5%)	1	0 (0.0%)	0
	② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	2 (0.2%)	0	0 (0.0%)	0
	③ 児童相談所、福祉事務所	18 (1.6%)	6	1 (1.7%)	0
	④ 保健所、精神保健福祉センター	1 (0.1%)	0	0 (0.0%)	0
	⑤ 病院、診療所	263 (23.7%)	66	0 (0.0%)	0
	⑥ 民間団体、民間施設	21 (1.9%)	7	0 (0.0%)	0
	⑦ 上記以外の機関等	10 (0.9%)	1	0 (0.0%)	0
	上記①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	672 (60.6%)	105	47 (81.0%)	23
	不明	123 (11.1%)	13	10 (17.2%)	1
学校内	⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	246 (22.2%)	41	2 (3.4%)	0
	⑨ スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	517 (46.7%)	111	4 (6.9%)	0
	上記⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数	474 (42.8%)	71	53 (91.4%)	24
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数		304 (27.4%)	42	45 (77.6%)	23

※回答は複数選択

※表中の()内は、該当する生徒数/不登校生徒数×100

※「*」の欄は、内数として「不登校のうち、90日以上欠席している者」

5 私立高等学校における中途退学者数等の状況

(1) 退学者数

(単位:人)

学科等		普通科	専門学科	定時制	通信制	合計
学年						
1年	生徒数	56,707	2,069	184	1,070	60,030
	退学者数	1,019	59	1	160	1,239
	退学率	1.8%	2.9%	0.5%	15.0%	2.1%
2年	生徒数	55,176	2,249	170	1,016	58,611
	退学者数	693	60	1	141	895
	退学率	1.3%	2.7%	0.6%	13.9%	1.5%
3年	生徒数	53,578	2,735	173	1,002	57,488
	退学者数	212	28	0	11	251
	退学率	0.4%	1.0%	0.0%	1.1%	0.4%
単位制	生徒数			671	6,132	6,803
	退学者数			49	275	324
	退学率			7.3%	4.5%	4.8%
計	生徒数	165,461 (166,176)	7,053 (7,954)	1,198 (1,199)	9,220 (9,141)	182,932
	退学者数	1,924 (2,029)	147 (144)	51 (31)	587 (430)	2,709
	退学率	1.2% (1.2%)	2.1% (1.8%)	4.3% (2.6%)	6.4% (4.7%)	1.5%

※生徒数は平成31年4月1日現在

※表中の()内は前年度数値

(2) 退学者の理由別・学年別内訳

【全日制】

(単位:人)

理由	普通科				専門学科				計			
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
学業不振	80 (7.9%)	49 (7.1%)	18 (8.5%)	147 (7.6%)	1 (1.7%)	5 (8.3%)	1 (3.6%)	7 (4.8%)	81 (7.5%)	54 (7.2%)	19 (7.9%)	154 (7.4%)
学校生活・学業不適応	352 (34.5%)	242 (34.9%)	54 (25.5%)	648 (33.7%)	19 (32.2%)	18 (30.0%)	7 (25.0%)	44 (29.9%)	371 (34.4%)	260 (34.5%)	61 (25.4%)	692 (33.4%)
進路変更	442 (43.4%)	293 (42.3%)	99 (46.7%)	834 (43.3%)	34 (57.6%)	28 (46.7%)	19 (67.9%)	81 (55.1%)	476 (44.2%)	321 (42.6%)	118 (49.2%)	915 (44.2%)
病気・けが・死亡	68 (6.7%)	54 (7.8%)	20 (9.4%)	142 (7.4%)	4 (6.8%)	4 (6.7%)	0 (0.0%)	8 (5.4%)	72 (6.7%)	58 (7.7%)	20 (8.3%)	150 (7.2%)
経済的理由	4 (0.4%)	3 (0.4%)	0 (0.0%)	7 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.6%)	1 (0.7%)	4 (0.4%)	3 (0.4%)	1 (0.4%)	8 (0.4%)
家庭の事情	41 (4.0%)	22 (3.2%)	5 (2.4%)	68 (3.5%)	0 (0.0%)	2 (3.3%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	41 (3.8%)	24 (3.2%)	5 (2.1%)	70 (3.4%)
問題行動等	26 (2.6%)	20 (2.9%)	9 (4.2%)	55 (2.9%)	0 (0.0%)	2 (3.3%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	26 (2.4%)	22 (2.9%)	9 (3.8%)	57 (2.8%)
その他	6 (0.6%)	10 (1.4%)	7 (3.3%)	23 (1.2%)	1 (1.7%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	7 (0.6%)	11 (1.5%)	7 (2.9%)	25 (1.2%)
計	1,019 (100.0%)	693 (100.0%)	212 (100.0%)	1,924 (100.0%)	59 (100.0%)	60 (100.0%)	28 (100.0%)	147 (100.0%)	1,078 (100.0%)	753 (100.0%)	240 (100.0%)	2,071 (100.0%)
生徒数	56,707	55,176	53,578	165,461	2,069	2,249	2,735	7,053	58,776	57,425	56,313	172,514
退学率	1.8%	1.3%	0.4%	1.2%	2.9%	2.7%	1.0%	2.1%	1.8%	1.3%	0.4%	1.2%

※退学者一人につき主たる理由を一つ選択したもの。

※表中の()内は、該当する生徒数/退学者数×100

(2) 退学者の理由別・学年別内訳 (続き)

【定時制/通信制】

(単位:人)

理由	定時制					通信制					計				
	1年	2年	3年	単位制	計	1年	2年	3年	単位制	計	1年	2年	3年	単位制	計
学業不振	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (5.6%)	2 (1.4%)	2 (18.2%)	24 (8.7%)	37 (6.3%)	9 (5.6%)	2 (1.4%)	2 (18.2%)	24 (7.4%)	37 (5.8%)
学校生活・学業不適応	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (16.3%)	8 (15.7%)	18 (11.3%)	14 (9.9%)	2 (18.2%)	63 (22.9%)	97 (16.5%)	18 (11.2%)	14 (9.9%)	2 (18.2%)	71 (21.9%)	105 (16.5%)
進路変更	1 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	33 (67.3%)	35 (68.6%)	130 (81.3%)	116 (82.3%)	6 (54.5%)	111 (40.4%)	363 (61.8%)	131 (81.4%)	117 (82.4%)	6 (54.5%)	144 (44.4%)	398 (62.4%)
病気・けが・死亡	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	2 (1.4%)	1 (9.1%)	25 (9.1%)	29 (4.9%)	1 (0.6%)	2 (1.4%)	1 (9.1%)	25 (7.7%)	29 (4.5%)
経済的理由	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	4 (1.5%)	7 (1.2%)	0 (0.0%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	5 (1.5%)	8 (1.3%)
家庭の事情	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (10.2%)	5 (9.8%)	1 (0.6%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	8 (2.9%)	10 (1.7%)	1 (0.6%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	13 (4.0%)	15 (2.4%)
問題行動等	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.1%)	2 (3.9%)	1 (0.6%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	6 (2.2%)	10 (1.7%)	1 (0.6%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	8 (2.5%)	12 (1.9%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (12.4%)	34 (5.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (10.5%)	34 (5.3%)
計	1 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	49 (100.0%)	51 (100.0%)	160 (100.0%)	141 (100.0%)	11 (100.0%)	275 (100.0%)	587 (100.0%)	161 (100.0%)	142 (100.0%)	11 (100.0%)	324 (100.0%)	638 (100.0%)
生徒数	184	170	173	671	1,198	1,070	1,016	1,002	6,132	9,220	1,254	1,186	1,175	6,803	10,418
退学者率	0.5%	0.6%	0.0%	7.3%	4.3%	15.0%	13.9%	1.1%	4.5%	6.4%	12.8%	12.0%	0.9%	4.8%	6.1%

※退学者一人につき主たる理由を一つ選択したもの。

※表中の()内は、該当する生徒数/退学者数×100

(3) 原級留置者の状況

(単位:人)

学年	学科等	普通科		専門学科		定時制		通信制		合計	
		生徒数	原級留置者数	生徒数	原級留置者数	生徒数	原級留置者数	生徒数	原級留置者数	生徒数	原級留置者数
1年	生徒数	56,707		2,069		184		1,070		60,030	
	原級留置者数	88		5		1		2		96	
	原級留置率	0.2%		0.2%		0.5%		0.2%		0.2%	
2年	生徒数	55,176		2,249		170		1,016		58,611	
	原級留置者数	45		2		1		4		52	
	原級留置率	0.1%		0.1%		0.6%		0.4%		0.1%	
3年	生徒数	53,578		2,735		173		1,002		57,488	
	原級留置者数	20		1		1		43		65	
	原級留置率	0.0%		0.0%		0.6%		4.3%		0.1%	
単位制	生徒数					671		6,132		6,803	
	原級留置者数					0		476		476	
	原級留置率					0.0%		7.8%		7.0%	
計	生徒数	165,461	(166,176)	7,053	(7,954)	1,198	(1,199)	9,220	(9,141)	182,932	
	原級留置者数	153	(222)	8	(11)	3	(2)	525	(809)	689	
	原級留置率	0.1%	(0.1%)	0.1%	(0.1%)	0.3%	(0.2%)	5.7%	(8.9%)	0.4%	

※生徒数は平成31年4月1日現在

※表中の()内は前年度数値

6 私立小学校、中学校及び高等学校における自殺の状況

校種	人数
小学校	0
中学校	1
高等学校	7
計	8